

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成24年2月16日 (2012.2.16)

【公開番号】特開2010-146497(P2010-146497A)
 【公開日】平成22年7月1日 (2010.7.1)
 【年通号数】公開・登録公報2010-026
 【出願番号】特願2008-326075(P2008-326075)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/26 (2012.01)

G 0 8 B 25/04 (2006.01)

G 0 8 B 27/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 5 4

G 0 8 B 25/04 K

G 0 8 B 27/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月21日 (2011.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

交番機能を代替する設備として屋外または公共的施設内のあらかじめ定めた複数の設置場所それぞれに配置し、交番や駐在所を無人化する交番代替ボックスであって、警察への申出または届出のために当該交番代替ボックスを利用する利用者が、対話による案内を行う対話受信案内室の担当者と対話するための対話用テレビモニタ、マイクおよびスピーカを備え、且つ、無線信号を送受信するための送受信装置を備えるとともに、当該交番代替ボックス内に踏み込むだけで、前記対話受信案内室との通信回線を確立する対話スイッチ用踏み台を備えることにより、当該交番代理ボックス内に入った利用者が、前記対話スイッチ用踏み台に足を置くことにより、前記対話用テレビモニタとの通信回線を確立し、前記対話用テレビモニタに画面表示される前記対話受信案内室の担当者との対話による案内にしたがった操作を行うことにより、各種の交番業務のうち、地理案内に関する業務、迷子や迷い人や被保護者の保護に関する業務、および、遺失物・拾得物の取扱いに関する業務の3つの業務を、交番に在勤する警察官に代わって、遂行することを特徴とする交番代替ボックス。

【請求項 2】

当該交番代替ボックスの側面が防護フェンスにより囲まれており、且つ、緊急時に、事件や事故等の対応を行う関連対処機関に対して緊急事態の発生を通報する緊急用ボタンを備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の交番代替ボックス。

【請求項 3】

周辺に居る人々や付近を通行中の人々に対して各種の情報を広報する広報用テレビモニタと拡声器とをさらに備えていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の交番代替ボックス。

【請求項 4】

凶悪事件の発生情報を前記送受信装置を介して受け取った場合、発生した凶悪事件に関する情報を前記広報用テレビモニタに画面表示するとともに、前記拡声器から注意を促す

音声情報を出力することにより、周辺の人々に対して、凶悪事件の発生を広報することを特徴とする請求項3に記載の交番代替ボックス。

【請求項5】

ファクシミリ通信を行うファクシミリ受信機と地理案内用の地図情報を受信して印刷する地理案内受信ファクシミリ用紙が格納されている地理案内用地図取出しケースを備え、当該交番代替ボックスを利用する利用者から目的地への地理案内の申出があった場合、該地理案内の申出に応じて、前記対話受信案内室にて当該目的地へ案内するための地理案内用として作成された地図情報を、前記対話受信案内室から受信して、前記ファクシミリ受信機により前記地理案内受信ファクシミリ用紙に印刷して出力することを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の交番代替ボックス。

【請求項6】

ファクシミリ通信を行うファクシミリ送信機と、迷子や迷い人や被保護者の保護を届け出る保護願い用紙が格納されている保護用届出用紙取出しケースとを備え、当該交番代替ボックスを利用する利用者から迷子や迷い人や被保護者の保護の届出があった場合、該保護の届出に応じて前記対話受信案内室から送信されてくる無線信号により、前記保護用届出用紙取出しケースから前記保護願い用紙を排出させ、前記利用者は、前記対話受信案内室の担当者からの案内にしたがって、当該保護願い用紙に必要な事項を記載し、且つ、当該迷子や迷い人や被保護者の写真がある場合には、該写真を当該保護願い用紙に貼付した後、当該保護願い用紙を前記ファクシミリ送信機にセットすることにより、当該保護願い用紙の記載内容を前記対話受信案内室へファクシミリ送信することを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の交番代替ボックス。

【請求項7】

各種の情報を広報する広報用テレビモニタと拡声器とを備えている場合において、前記保護願い用紙の記載内容を受信した前記対話受信案内室から該保護願い用紙の記載内容が転送されてきた場合、前記広報用テレビモニタに該保護願い用紙の記載内容を画面表示するとともに、前記拡声器を介して音声情報を出力することにより、周辺の人々に対して、迷子や迷い人や被保護者の探索・保護に関する情報を広報することを特徴とする請求項6に記載の交番代替ボックス。

【請求項8】

前記保護願い用紙の記載内容を前記対話受信案内室へファクシミリ送信する際に、同時に、当該保護願い用紙の記載内容を、事件や事故や保護の対応を行う関連対処機関に対してもファクシミリ送信することを特徴とする請求項6または7に記載の交番代替ボックス。

【請求項9】

前記保護願い用紙の記載内容を受信した前記関連対処機関からの無線信号に応じて、または、前記対話受信案内室または前記関連対処機関からの無線信号に応じて、前記対話用テレビモニタ、マイクおよびスピーカの状態を、前記対話受信案内室の担当者との対話状態から前記関連対処機関の担当者との対話状態に切り替えることを特徴とする請求項8に記載の交番代替ボックス。

【請求項10】

被写体を撮影するカメラを備え、当該交番代替ボックスを利用する利用者から迷子や迷い人や被保護者を保護した旨の通報があった場合、該通報を受け取った前記対話受信案内室または前記関連対処機関から送信されてくる無線信号に応じて、保護された前記迷子や迷い人や被保護者を前記カメラにより自動的に撮影して、被保護者撮影画像情報として、前記対話受信案内室へ送信するとともに、前記関連対処機関に対しても送信することを特徴とする請求項8または9に記載の交番代替ボックス。

【請求項11】

各種の情報を広報する広報用テレビモニタと拡声器とを備えている場合において、前記被保護者撮影画像情報を受信した前記関連対処機関から該被保護者撮影画像情報を含む被保護者に関する情報が転送されてきた場合、前記広報用テレビモニタに前記被保護者に関

する情報を画面表示するとともに、前記拡声器を介して音声情報を出力することにより、周辺の人々に対して、迷子や迷い人や被保護者を保護している旨を広報することを特徴とする請求項10に記載の交番代替ボックス。

【請求項12】

ファクシミリ通信を行うファクシミリ送信機と、遺失物や拾得物を届け出る遺失物拾得物届出用紙が格納されている遺失物等届出用紙取出しケースとを備え、当該交番代替ボックスを利用する利用者から遺失物や拾得物の届出があった場合、該届出に応じて前記対話受信案内室から送信されてくる無線信号により、前記遺失物等届出用紙取出しケースから前記遺失物拾得物届出用紙を排出させ、前記利用者は、前記対話受信案内室の担当者からの案内にしたがって、当該遺失物拾得物届出用紙に必要な事項を記載した後、当該遺失物拾得物届出用紙を前記ファクシミリ送信機にセットすることにより、当該遺失物拾得物届出用紙の記載内容を前記対話受信案内室へファクシミリ送信することを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の交番代替ボックス。

【請求項13】

各種の情報を広報する広報用テレビモニタと拡声器とを備えている場合において、前記遺失物拾得物届出用紙の記載内容を受信した前記対話受信案内室から該遺失物拾得物届出用紙の記載内容が転送されてきた場合、前記広報用テレビモニタに該遺失物拾得物届出用紙の記載内容を画面表示するとともに、前記拡声器を介して音声情報を出力することにより、周辺の人々に対して、遺失物や拾得物の探索に関する情報を広報することを特徴とする請求項12に記載の交番代替ボックス。

【請求項14】

前記遺失物拾得物届出用紙の記載内容を前記対話受信案内室へファクシミリ送信する際に、同時に、当該遺失物拾得物届出用紙の記載内容を、事件や事故や保護の対応を行う関連対処機関に対してもファクシミリ送信することを特徴とする請求項12または13に記載の交番代替ボックス。

【請求項15】

前記遺失物拾得物届出用紙の記載内容を受信した前記関連対処機関からの無線信号に応じて、または、前記対話受信案内室または前記関連対処機関からの無線信号に応じて、前記対話用テレビモニタ、マイクおよびスピーカの状態を、前記対話受信案内室の担当者との対話状態から前記関連対処機関の担当者との対話状態に切り替えることを特徴とする請求項14に記載の交番代替ボックス。

【請求項16】

被写体を撮影するカメラを備え、当該交番代替ボックスを利用する利用者から拾得物を拾得した旨の通報があった場合、該通報を受け取った前記対話受信案内室または前記関連対処機関から送信されてくる無線信号に応じて、拾得された前記拾得物を前記カメラにより自動的に撮影して、拾得物撮影画像情報として、前記対話受信案内室へ送信するとともに、前記関連対処機関に対しても送信することを特徴とする請求項14または15に記載の交番代替ボックス。

【請求項17】

各種の情報を広報する広報用テレビモニタと拡声器とを備えている場合において、前記拾得物撮影画像情報を受信した前記関連対処機関から該拾得物撮影画像情報を含む拾得物に関する情報が転送されてきた場合、前記広報用テレビモニタに前記拾得物に関する情報を画面表示するとともに、前記拡声器を介して音声情報を出力することにより、周辺の人々に対して、拾得物の届出がある旨を広報することを特徴とする請求項16に記載の交番代替ボックス。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

(1) 交番機能を代替する設備として屋外または公共的施設内のあらかじめ定めた複数の設置場所それぞれに配置し交番や駐在所を無人化する交番代替ボックスであって、警察への申出または届出のために当該交番代替ボックスを利用する利用者が、対話による案内を行う対話受信案内室の担当者と対話するための対話用テレビモニタ、マイクおよびスピーカを備え、且つ、無線信号を送受信するための送受信装置を備えるとともに、当該交番代替ボックス内に踏み込むだけで、前記対話受信案内室との通信回線を確立する対話スイッチ用踏み台を備えることにより、当該交番代替ボックス内に入った利用者が、前記対話スイッチ用踏み台に足を置くことにより、前記対話用テレビモニタとの通信回線を確立し、前記対話用テレビモニタに画面表示される前記対話受信案内室の担当者との対話による案内にしたがった操作を行うことにより、各種の交番業務のうち、地理案内に関する業務、迷子や迷い人や被保護者の保護に関する業務、および、遺失物・拾得物の取扱いに関する業務の3つの業務を、交番に在勤する警察官に代わって、遂行する交番代替ボックス。

(2) 当該交番代替ボックスの側面が防護フェンスにより囲まれており、且つ、緊急時に、事件や事故等の対応を行う関連対処機関に対して緊急事態の発生を通報する緊急用ボタンを備えている上記(1)の交番代替ボックス。

(3) 周辺に居る人々や付近を通行中の人々に対して各種の情報を広報する広報用テレビモニタと拡声器とをさらに備えている上記(1)または(2)の交番代替ボックス。

(4) 凶悪事件の発生情報を前記送受信装置を介して受け取った場合、発生した凶悪事件に関する情報を前記広報用テレビモニタに画面表示するとともに、前記拡声器から注意を促す音声情報を出力することにより、周辺の人々に対して、凶悪事件の発生を広報する上記(3)の交番代替ボックス。

(5) ファクシミリ通信を行うファクシミリ受信機と地理案内用の地図情報を受信して印刷する地理案内受信ファクシミリ用紙が格納されている地理案内用地図取出しケースを備え、当該交番代替ボックスを利用する利用者から目的地への地理案内の申出があった場合、該地理案内の申出に応じて、前記対話受信案内室にて当該目的地へ案内するための地理案内用として作成された地図情報を、前記対話受信案内室から受信して、前記ファクシミリ受信機により前記地理案内受信ファクシミリ用紙に印刷して出力する上記(1)ないし(4)のいずれかの交番代替ボックス。

(6) ファクシミリ通信を行うファクシミリ送信機と、迷子や迷い人や被保護者の保護を届け出る保護願い用紙が格納されている保護用届出用紙取出しケースとを備え、当該交番代替ボックスを利用する利用者から迷子や迷い人や被保護者の保護の届出があった場合、該保護の届出に応じて前記対話受信案内室から送信されてくる無線信号により、前記保護用届出用紙取出しケースから前記保護願い用紙を排出させ、前記利用者は、前記対話受信案内室の担当者からの案内にしたがって、当該保護願い用紙に必要な事項を記載し、且つ、当該迷子や迷い人や被保護者の写真がある場合には、該写真を当該保護願い用紙に貼付した後、当該保護願い用紙を前記ファクシミリ送信機にセットすることにより、当該保護願い用紙の記載内容を前記対話受信案内室へファクシミリ送信する上記(1)ないし(4)のいずれかの交番代替ボックス。

(7) 各種の情報を広報する広報用テレビモニタと拡声器とを備えている場合において、前記保護願い用紙の記載内容を受信した前記対話受信案内室から該保護願い用紙の記載内容が転送されてきた場合、前記広報用テレビモニタに該保護願い用紙の記載内容を画面表示するとともに、前記拡声器を介して音声情報を出力することにより、周辺の人々に対して、迷子や迷い人や被保護者の探索・保護に関する情報を広報する上記(6)の交番代替ボックス。

(8) 前記保護願い用紙の記載内容を前記対話受信案内室へファクシミリ送信する際に、同時に、当該保護願い用紙の記載内容を、事件や事故や保護の対応を行う関連対処機関に対してもファクシミリ送信する上記(6)または(7)の交番代替ボックス。

(9) 前記保護願い用紙の記載内容を受信した前記関連対処機関からの無線信号に応じて、または、前記対話受信案内室または前記関連対処機関からの無線信号に応じて、前記

対話用テレビモニタ、マイクおよびスピーカの状態を、前記対話受信案内室の担当者との対話状態から前記関連対処機関の担当者との対話状態に切り替える上記（８）の交番代替ボックス。

（１０）被写体を撮影するカメラを備え、当該交番代替ボックスを利用する利用者から迷子や迷い人や被保護者を保護した旨の通報があった場合、該通報を受け取った前記対話受信案内室または前記関連対処機関から送信されてくる無線信号に応じて、保護された前記迷子や迷い人や被保護者を前記カメラにより自動的に撮影して、被保護者撮影画像情報として、前記対話受信案内室へ送信するとともに、前記関連対処機関に対しても送信する上記（８）または（９）の交番代替ボックス。

（１１）各種の情報を広報する広報用テレビモニタと拡声器とを備えている場合において、前記被保護者撮影画像情報を受信した前記関連対処機関から該被保護者撮影画像情報を含む被保護者に関する情報が転送されてきた場合、前記広報用テレビモニタに前記被保護者に関する情報を画面表示するとともに、前記拡声器を介して音声情報を出力することにより、周辺の人々に対して、迷子や迷い人や被保護者を保護している旨を広報する上記（１０）の交番代替ボックス。

（１２）ファクシミリ通信を行うファクシミリ送信機と、遺失物や拾得物を届け出る遺失物拾得物届出用紙が格納されている遺失物等届出用紙取出しケースとを備え、当該交番代替ボックスを利用する利用者から遺失物や拾得物の届出があった場合、該届出に応じて前記対話受信案内室から送信されてくる無線信号により、前記遺失物等届出用紙取出しケースから前記遺失物拾得物届出用紙を排出させ、前記利用者は、前記対話受信案内室の担当者からの案内にしたがって、当該遺失物拾得物届出用紙に必要な事項を記載した後、当該遺失物拾得物届出用紙を前記ファクシミリ送信機にセットすることにより、当該遺失物拾得物届出用紙の記載内容を前記対話受信案内室へファクシミリ送信する上記（１）ないし（４）のいずれかの交番代替ボックス。

（１３）各種の情報を広報する広報用テレビモニタと拡声器とを備えている場合において、前記遺失物拾得物届出用紙の記載内容を受信した前記対話受信案内室から該遺失物拾得物届出用紙の記載内容が転送されてきた場合、前記広報用テレビモニタに該遺失物拾得物届出用紙の記載内容を画面表示するとともに、前記拡声器を介して音声情報を出力することにより、周辺の人々に対して、遺失物や拾得物の探索に関する情報を広報する上記（１２）の交番代替ボックス。

（１４）前記遺失物拾得物届出用紙の記載内容を前記対話受信案内室へファクシミリ送信する際に、同時に、当該遺失物拾得物届出用紙の記載内容を、事件や事故や保護の対応を行う関連対処機関に対してもファクシミリ送信する上記（１２）または（１３）の交番代替ボックス。

（１５）前記遺失物拾得物届出用紙の記載内容を受信した前記関連対処機関からの無線信号に応じて、または、前記対話受信案内室または前記関連対処機関からの無線信号に応じて、前記対話用テレビモニタ、マイクおよびスピーカの状態を、前記対話受信案内室の担当者との対話状態から前記関連対処機関の担当者との対話状態に切り替える上記（１４）の交番代替ボックス。

（１６）被写体を撮影するカメラを備え、当該交番代替ボックスを利用する利用者から拾得物を拾得した旨の通報があった場合、該通報を受け取った前記対話受信案内室または前記関連対処機関から送信されてくる無線信号に応じて、拾得された前記拾得物を前記カメラにより自動的に撮影して、拾得物撮影画像情報として、前記対話受信案内室へ送信するとともに、前記関連対処機関に対しても送信する上記（１４）または（１５）の交番代替ボックス。

（１７）各種の情報を広報する広報用テレビモニタと拡声器とを備えている場合において、前記拾得物撮影画像情報を受信した前記関連対処機関から該拾得物撮影画像情報を含む拾得物に関する情報が転送されてきた場合、前記広報用テレビモニタに前記拾得物に関する情報を画面表示するとともに、前記拡声器を介して音声情報を出力することにより、周辺の人々に対して、拾得物の届出がある旨を広報する上記（１６）の交番代替ボックス

o